

注目! まちの話題



「街に元気を!
古河ほこてんマルシェ」開催

5月8日、まちなかのにぎわいを創出し、商業の活性化を図ることを目的に「古河ほこてんマルシェ」が開催されました。

当日は、JR古河駅西口の三国橋大聖院線みくにぼしだいしょういんの一部約100メートルを歩行者天国にして、市内の飲食店や名産品など約40店舗が出店。また、大道芸や歌謡ショーなどステージイベントも行われ、食と音楽、笑いなど盛りだくさん。五月晴れにも恵まれて、親子連れなど3,000人の人出で活気づいていました。



▲継続的なにぎわいを創出するため、今年度は7/30、9/25、12/3の開催を予定しています



身近な自然をいつまでも大切に



▲皆様のご協力で5.5トンのごみを回収

4月16日、春のうらかな陽気の中、古河市を含む4市2町で「渡良瀬遊水地クリーン作戦」が行われました。

この活動は、ラムサール条約に登録されている渡良瀬遊水地の近隣自治体で毎年行われています。古河市では行政自治会や団体、企業、学校など、総勢2,260人のボランティアが参加しました。

不法投棄を少しでも減らすには、さまざまな主体が一体となって美しい自然を維持していくことが大切です。今後も渡良瀬遊水地の環境美化にご理解とご協力をお願いします。



日本の伝統文化に触れました



▲風薫る季節にお茶の香りを堪能しました

「第15回ふるさと古河新茶まつり」が5月8日に開催されました。初夏を思わせるような快晴の下、野点茶会のたてや茶摘みの体験、新茶の手もみ実演などが行われました。

茶道というと難しいものと思われがちですが、野点茶会ではすべての作法が必要ではなく、自然を楽しみながらお茶をいただきます。

まぶしく光る新緑の中で、時折吹く風を涼しく感じながら、お茶を一口飲んだ瞬間口いっぱいに広がる甘み。そのおいしさに、お茶の魅力が再発見するとともに、幸福感で心が満たされました。